

## 研究「テレビ情報番組視聴がもたらす健康行動への影響」について

当教室にて、NHK ネットクラブ会員対象オンラインアンケート「2015年7月12日に放送されたNHKスペシャル腰痛・治療革命でNHKネットクラブ会員の希望者を対象として実施した腰痛改善プログラムの際に行ったアンケート」（実施期間 2015年4月17日～5月22日）のデータを用いて研究を行います。この研究は健康に関するテレビ情報番組の視聴が視聴者の健康行動にどのような影響を与えるのかを探索的に調査するものです。

### 【研究の背景】

平成24年情報通信白書によると、一般国民が医療・健康情報を入手する最大の情報源は「テレビ番組」とされています。そのため、科学的エビデンスに基づく適切な医療・健康情報をテレビ番組で取り上げることは国民の健康向上や維持に寄与すると考えられます。しかしこれまで、テレビ番組の視聴が、医療や健康に関する知識、態度、行動意図などにどのような影響を与えているかについて、検証されてきませんでした。

### 【研究の目的】

健康情報番組で提供された情報が、視聴者の、特定疾患に関する知識、態度、行動意図にどのような影響を与えたか、また、視聴者の受診行動や自覚症状に変化を与えたかどうかを検証します。

### 【研究の方法】

本研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則り、東京大学医学部倫理委員会の承認のうえ実施されます。本研究で謝金のお支払いはございません。本研究は、東京大学医学系研究科医療コミュニケーション学運営費交付金にて実施されます。本研究に関して開示すべき利益相反関係はありません。すべてのデータは匿名化されており、個人情報に含まれておりません。また、そのため、研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会や学術論文等で発表されます。データは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存され、その後は適切に廃棄されます。ご不明な点がございましたら下記の問い合わせ先へお尋ねください。

平成 28 年 6 月

### 【お問い合わせ先】

東京大学大学院医学系研究科医療コミュニケーション学 特任助教 加藤美生  
住所：東京都文京区本郷7-3-1  
電話：03-5800-9841（内線 35284）  
Eメール：mkato-ctr@umin.ac.jp